

プログラム

平成26年11月21日（金）

（口頭発表15分、質疑応答5分）

09:00～	受付
09:30～09:40	開会の辞 研究総括：上田 泰己（東京大学大学院医学系研究科 教授）
09:40～10:40	<p>① 細胞形状と運動の自己組織的挙動の理解と操作 澤井 哲（東京大学 大学院総合文化研究科 准教授）</p> <p>② 分子輸送から解く生命の起源：構造、情報、輸送の動的結合の解明と 新たな分子操作技術の確立 前多 裕介（京都大学 白眉センター 特定助教）</p> <p>③ バクテリア再構成法の開発 田端 和仁（東京大学 大学院工学系研究科 講師）</p>
休憩	
10:50～11:30	<p>④ 動物胚の頑強な相似性を保証する発生場スケーリングのシステム制御機序 猪股 秀彦（理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター チームリーダー）</p> <p>⑤ 細胞分裂周期の in vitro 再構成への挑戦 持田 悟（熊本大学 大学院先端機構 特任助教）</p>
昼食／ポスター発表（第2・3期生）	
14:00～14:50	特別講演「リン脂質多様性の形成機構と生物学的意義」 清水 孝雄（国立国際医療研究センター 研究所長）
14:50～15:50	<p>⑥ 無細胞合成生物学による人工二次代謝産物の発見と生産 後藤 佑樹（東京大学 大学院理学系研究科 助教）</p> <p>⑦ 細胞内環境操作法による疾患モデル細胞の創成 加納 ふみ（東京大学 大学院総合文化研究科 助教）</p> <p>⑧ 染色体複製系の周期的駆動にむけた回路の再構成 末次 正幸（立教大学 理学部生命理学科 准教授）</p>
休憩	
16:00～17:00	<p>⑨ 非平衡人工細胞モデルの時空間ダイナミクス定量解析 瀧ノ上 正浩（東京工業大学 大学院総合理工学研究所 講師）</p> <p>⑩ 分子複合体と動物個体での機能を結ぶ1分子可視化計測 茅 元司（東京大学 大学院理学系研究科 助教）</p> <p>⑪ 構成的アプローチによる植物の生物時計の組織特異的な役割の解明 遠藤 求（京都大学 大学院生命科学研究所 助教）</p>
休憩	
17:10～17:50	<p>⑫ 人工遺伝子回路を利用して発生現象に迫る 石松 愛（Harvard Medical School, Department of Systems Biology Postdoctoral Fellow）</p> <p>⑬ カイメンが工学的に優れた骨格構造を自律的に構築するメカニズムの解明 船山 典子（京都大学 大学院理学研究科 准教授）</p>
17:50～18:10	講評 研究総括：上田 泰己（東京大学大学院医学系研究科 教授）
	閉会の辞（独）科学技術振興機構